

科目名	障害者福祉論	
担当者	清原 浩 / KIYOHARA, Hiroshi	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	障害者が置かれている現実、夢、希望をある福祉施設とそこに通う障害者を通して明らかにします。また、福祉施設や地域福祉でのサポートのあり方を明らかにします。そのことを通して、受講生自身の生き方も振り返ることができるようにします。臨床福祉論といった角度からの授業になります。
	到達目標	「障害者福祉の現実がわかる」 「障害者の方々の夢、希望がわかる」 「障害者へのサポートのあり方がわかる」 「障害者の生き方がわかって、自分の生き方にも示唆が与えられる」
授業計画	(1) 「私と障害者」 /VTR「自立へはばたく」 (2) 「ある福祉法人の理念」 /VTR「響きあう父と子」 (3) 「ある福祉法人のあゆみ」 /VTR「青空が見たい」 (4) 「ある福祉法人のめざすもの」 /VTR「ゆきちゃん、ひろちゃん、がんばれ、がんばれ」 (5) 「夢のまち」構想とは/VTR「13年目のゴール」 (6) 「自治とは」 /VTR「姉と兄に見守られて」 (7) 「自立とは」 /VTR「新しい自分を探して」 (8) 「福祉文化とは」 /VTR「ママ、太陽が見たい(1)」 (9) 「発達とは」 /VTR「ママ、太陽が見たい(2)」 (10) 「労働とは」 /VTR「はまなすの家」 (11) 「生活とは」 /VTR「海君が笑った」 (12) 「サービスとは」 /VTR「奇形ザルは警告する」 (13) 「市民運動と福祉」 /VTR「二人の島旅」 (14) 「障害児療育の輪を広げる運動」 /VTR「自立に向かうアメリカの障害者」 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・教科書の講義された部分の再読、再確認をすること。 ・視聴したビデオの内容の再度の想起、確認をすること。
使用教材・参考文献	【教】清原浩・黒川久美・中村隆司編著『「協同と協同」が拓く障害者の福祉』（2001）クリエイツかもがわ	
成績評価方法と基準	<基準>障害者へのサポートのあり方を理解できた場合を合格とします。 <方法>筆記試験。（試験80%、出席20%）	
備考	なし	